

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和3年8月20日

ふりがな	ぼうぜちくかつせいかけいかく
活性化計画名	坊勢地区活性化計画
ふりがな	ひめじし
計画主体名	姫路市
計画期間	平成26年度～平成30年度
事業実施期間	平成26年度（繰越）
活性化計画区域	兵庫県姫路市家島町坊勢

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
地域産物の販売額の増加	17.76%	19.30%	108.67%	

(コメント)

施設整備後、カラスミの原料となるボラが減少した年に目標値を下回る年があったが、最終的には目標を達成することができた。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	処理加工・集出荷貯蔵施設 (26 農林水産物処理加工施設)	
事業内容及び事業量	カラスミ加工施設一式、ボラフィレマシン施設一式	
事業実施主体	清広水産	
管理主体	清広水産	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
平成 28 年度	平成 27 年度	平成 27 年 11 月 1 日
事業の効果	カラスミの製造・加工の施設整備を行うことにより、未利用魚であったボラの高付加価値化ができ、地区の雇用を創出することが可能となる。	

(3) 総合評価及び今後の方針

(コメント)
坊勢地区活性化計画により必要な加工施設を整備し、カラスミを製造し、販売及び魚体のフィレ加工により高付加価値化をしていくことにより、漁業者等の経営安定化及び新たな雇用が確保できた。このことにより地域人口の減少の緩和、地域の定住促進を行うことにより、地域の活性化が図られた。今後もこの施設を利用することで、確保した雇用の継続に努めていく。

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 坊勢漁業協同組合代表理事組合長	(氏名) 岡田 武夫
(コメント)	当事業の事業活性化計画は目標を上回っており、当事業で製造されたカラスミは、坊勢漁港ふれあいプラザでも観光客に好評で、販売実績も良いため、評価に値する。	

2 活性化計画の目標の評価等

(1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の 目標及び達成度	目標	漁港背後集落調査の過去（平成 23 年～平成 25 年）の統計数値から推計した平成 30 年度の漁業就業者数 942 名を上回ることを目標とする。		
	目標値 A	実績値 B	達成率 $C = B / A$	
	942 名	1,069 名	113.48%	

(2) 今後の方針

(コメント)

整備した施設を継続して利用することで、引き続き地域人口の減少の緩和、地域の定住促進に努め、地域の活性化を図る。

(3) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 坊勢漁業協同組合代表理事組合長	(氏名) 岡田 武夫
(コメント)		
当施設の整備により、新たな雇用を確保できたことが漁業就業者数増加の一因であると思う。販売実績に加え、平成30年度の漁業就業者数の目標を上回ったことから、当計画を評価する。		

【記入要領】

- (1) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要領第16の1の(3)のア及びイに基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (2) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は、事業メニューごとに作成すること。また、「事業の効果」には目標の達成に直接関係する効果だけでなく、事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果（取組への参加や地域内で行われた話合の回数などの地域の変化を表す数値等を含む））を幅広く記入すること。